

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	少子高齢化の進展に対応した暮らしやすい生活基盤の整備・維持管理について、子どもから高齢者まで安心して安全に暮らし、交流することで生きがいを感じることができるひとにやさしく安心・快適で活力にあふれるまちとなること。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	75.9	76	76.7	77.4	78	78.5	-	
			74.1	74.3	74.1	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	74.6	-	-	0.0	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010000 都市づくりビジョンの策定 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	-	
			55,184	55,174	0	-	-	0.0	
2	幸福 04010000 都市づくりビジョンの策定 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	-	
			61.9	62.8	0	-	-	0.0	
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	0	-	-	0.0	
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			49.3	53.9	0	-	-	0.0	
5	暮らし 04030000 利用しやすい交通網の整備 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	35.1	35.1	36	36.5	37.5	38	-	
			31.7	30.9	0	-	-	0.0	
6	幸福 04030000 利用しやすい交通網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			40.4	53.9	0	-	-	0.0	

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備部長 齊藤 和博 上下水道部長 太田 城人
-----------------	------------------------------

**(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況**

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
7	暮らし 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	1	1	1	1	1	1	-	
		1	0	0	-	-	0.0		
8	幸福 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
		72.3	78.3	0	-	-	0.0		
9	暮らし 04050000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	1.9	1.9	1.9	1.9	1	1	-	
		1.97	1.39	0	-	-	0.0		
10	幸福 04050000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
		72.3	78.3	0	-	-	0.0		
11	暮らし 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	68.1	70	71	72	73	73.5	-	
		70.8	75.4	0	-	-	0.0		
12	幸福 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
		72.3	78.3	0	-	-	0.0		
13	暮らし 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
		82.5	84.5	0	-	-	0.0		
14	幸福 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
		72.3	78.3	0	-	-	0.0		
	単位								
	単位								
	単位								
	単位								

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

### 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

#### (1) 政策目標の進捗状況分析

- ・ビッグループ滝沢の開設や平成30年度完成予定の滝沢中央スマートインターチェンジの事業が順調に進められており、交流や活力、雇用の拠点づくりに向けた環境が整いつつあります。
- ・滝沢市地域公共交通網形成計画が平成29年9月に策定され、今後は市民や関係部署、機関と連携して持続可能な具体の公共交通について検討するとともに利用促進を図る必要があります。
- ・上下水道事業は、市民生活のライフラインとして将来にわたって事業継続の必要があることから、老朽施設の計画的な更新と長寿命化を図り、事業の安定経営に継続的に取り組んでいます。

#### (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・交通政策基本法、空き家対策特別措置法等少子高齢化等社会情勢の変化を背景とした法令化が見られます。
- ・消費税の増税や震災復興、オリンピック需要等から資材価格の高騰や人手不足、高齢化に伴うオペレーターの確保等に課題があります。
- ・少子高齢化による交通移動弱者や小規模水需要者が増えています。
- ・国からの補助金・交付金は減少傾向にあり、今後益々不透明な状況が続くものと思われます。
- ・近年、ゲリラ豪雨や地震、火山等による災害が多発しており、自然災害に対する予防保全対策が必要となっています。
- ・東日本大震災を教訓に、上下水道施設の耐震化と緊急時の事業継続体制の確立が求められています。

### 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

#### (1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・度重なる豪雨等による浸水対策について、内水対策も含めた安全対策を実施して参ります。
- ・本市に相応しい持続可能な公共交通について、市民や関係部署、関係機関と連携しながら検討して参ります。
- ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用関連事務について、熟度に応じて関係機関との協議・調整を進めて参ります。
- ・滝沢中央スマートインターチェンジの平成31年3月の完成・供用に向け、ネクスコ東日本ほか関係機関と連携しながら着実に事業を進めて参ります。
- ・歩行環境の充実等安全な道路および河川環境の整備を着実に進めるとともに、今あるストックが安定し持続可能なものとするため地域の連携と中長期的視点による事業を展開して参ります。
- ・岩手山麓の水源を確保するとともに、水の安全管理を徹底し、老朽管の更新や地震に強い配水管の整備を進めます。
- ・経営の効率化と利用者サービスの向上のため、上下水道料金徴収業務の民間委託を行っています。
- ・市街化区域内においては、公共下水道の整備を促進し、その他の区域については、放流先を確保しながら合併処理浄化槽の設置を推進します。

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・滝沢中央小学校開校に合わせて人道橋を完成させ供用開始に向けた事業推進
- ・スマートインターチェンジの年度末完成・供用開始に向けた事業推進
- ・河川浸水箇所の安全対策の実施
- ・拠点の土地利用計画に関わる関係機関との事前協議・調整
- ・小岩井駅前広場の事業着手
- ・老朽上下水道施設の更新及び整備の実施
- ・不明水対策、下水道維持管理計画策定に向けた調査及び下水道整備事業の推進
- ・上下水道会計の健全経営の持続と更なる向上

#### (3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・滝沢中央小学校開校に合わせて人道橋を完成させ供用開始に向けた事業推進
- ・スマートインターチェンジの着実な事業推進と完成
- ・河川浸水箇所の安全対策
- ・拠点の土地利用計画に関わる事前協議と調整
- ・小岩井駅前広場整備事業の着手
- ・道路・河川・上下水道の整備・維持管理・更新事業計画の着実な実施(交付金事業等)
- ・水道事業における老朽施設の更新及び安定経営の持続を最優先とした事業継続行動
- ・下水道使用料及び受益者負担金の確実な確保を最優先とし、持続可能な下水道経営を目的としたアセットマネジメントの実施

